かわら版　事務所通信　VOL-173（2024/07）
編集責任者：佐藤寿志　0100

税理士のひとりごと

税理士の佐藤です。

経済産業省は6月28日、インターネット上の有名人を騙った詐欺広告を巡り、広告主の本人確認や被害への対応が不十分だとし、フェイスブックを運営する米メタに改善を求めました。

実際、被害は深刻で、警察庁によると2023年のSNS型投資詐欺の被害額は約277億9千万円(1件当たり平均1,200万円の被害)に上るようです。被害者の年齢層は男性が50～60代、女性が40～50代が多いようで、おれおれ詐欺などの被害者の8割が65歳以上なのに比べて若干、若い世代の被害が目立ちます。背景には老後資金の不安を抱える年齢層の心理を巧みに操っているのかも知れません。

被害の発端となったSNSは、男性がFacebook(22.1%)の他、「LINE」(21.1%)、Instagram(17.9%)など。女性はInstagram(31.5%)の他、LINE(19.2%)、マッチングアプリ(14.1%)など、男女それぞれに違いがある事もわかります。

「うまい話にゃ裏がある」という言葉は誰もが知っている常識だと思っていましたが・・。

「敵（？）を知る」

「元刑事が教える相手のウソの見抜き方(森透匡著、三笠書房)」の著者は元警部です。30年近く警察で詐欺、横領、贈収賄事件等の仕事を通し、政治家、経営者、公務員、銀行幹部、詐欺師など2千名以上の強者の取り調べや事情聴取を通して「ある技術」を体得しました。それは・・「ウソの見抜き方」です。

しかし、我が国の警察では「ウソの見抜き方」は個々人固有のスキルです。誰もその秘訣を部下などの他者に教えてはくれずその達人が退職するとそのノウハウは失われます。

そこで筆者は「ウソ」を見抜くスキルを世の中に広めようと講師などのコンサルというビジネスを開始しました。実際、著者が研修を担っている団体の中には国税庁税務大学校、財務省税関研修所などがあり納税者のウソを見抜くスキルを税務署等の職員に伝授しているようです・・。

「相手の言葉はウソだらけ」

「メラビアンの法則」という心理学の法則があります。アルバート・メラビアン氏は、人は「相手の発した言葉」や「表情や感情」が一致しない場合においてはどの情報を優先するのかを実験し、言語情報(7%)、聴覚情報(38%)、視覚情報(55%)が相手に影響を与えると結論づけました。

つまり、人は「言葉」より「目に映るもの」を重視するのです。たとえば、部下が失敗をし上司として叱責します。その際、「すいませんでした」と「ふてくされた」態度で謝った場合、その部下の心理をあなたはどう捉えますか・・。

佐藤寿志税理士事務所　006-0023　札幌市手稲区手稲本町3条1丁目1番1号
TEL(011)699-5925

当然、ふてくされた態度に彼の本音（ウソ）が現れていると考えます。

そうです・・人は「言葉」と「表情」に齟齬（くいちがい）があった場合に「言葉」以外の情報が正しいと経験則で知っているのです。なぜ表情にウソが現れるかと言うと、誰であれ多くの場合に「感情はコントロール」する事が困難だからです。

「ウソの定義と種類」

そもそも「ウソ」とは何かについて考えてみましょう。辞書によると「事実でないこと、また事実ではないことを言う事」と解説されています。そう考えると、人間は子供のころからウソをついている事がわかりますね・・。

「ウソ」には、「調和のウソ」、「着飾りのウソ」、「騙しのウソ」、「防御のウソ」の 4 つの種類があると筆者は言います。

「調和のウソ」はコミュニケーションとして必要とされるもので、誰しも相手に本当の事を告げたら傷つくからオブラートに包んだ言い方をすることがあるでしょう・・。

「着飾りのウソ」は自分を大きく見せたり、良く見せようとするもので、就職試験などの際に誰しも使うものです。

困ったウソは「騙しのウソ」です。冒頭で触れた SNS 詐欺やオレオレ詐欺で被害を受けないよう、このウソを見抜く力が大切になります。

「防御のウソ」は自分を守ったり、人を守ったりするためのウソで、他人に迷惑をかけないぐらいだったら、ある程度は理解できるウソとも言えます。

このように人間は生まれた時から大きなウソや小さなウソ、悪いウソや良いウソをついています。「調和のウソ」だけは、人間関係に唯一必要なウソかもしれないと筆者は言います。

「ウソはだんだんうまくなる・・」

詐欺師は自らの「商売」としてウソをつきます。当然、悪いことをしているという意識はありません。また、宗教という名のもとに高額な商品を売りつける宗教団体も「ウソ」を平気で信者に教え込みます。

詐欺師や悪徳宗教の布教者は、罪の意識がないのでウソをつけばつくほど「ウソが上達」し、しかも平気で多くの詐欺師が「騙すつもりでなかったと」答えるので筆者はあきれてしまったようです。

また、ウソはつけばつくほど、場数を踏めば踏むほどうまくなる、しかもウソをつく事が上手な人間ほど罪悪感はないようです。

「うまい話」が自分に近づいてきたら気を付けましょう。そんな美味しい話を親切に他人に教えてくれるお人好しはこの世にいません・・！。

Fool me once, shame on you; fool me twice, shame on me.

（翻訳：一度だけ僕をだましたなら君の恥、二度も僕をだましたのなら僕の恥）

英語のことわざ

編集後記：

「嘘つきは政治家の始まり」という言葉がありますが・・まさに、東京都知事選がその舞台となっています。民主主義、表現の自由等々、勝手なことの言いっぱなし、やりっぱなし、自己主張（？）の垂れ流しは社会悪ではないかと感じるのは私だけではないでしょう。SNS で再生数が稼げれば儲かる、だから何をやってもいいという史上最低のビジネスモデルの誕生かも知れませんね・・（寿）。

佐藤寿志税理士事務所　006-0023　札幌市手稲区手稲本町 3 条 1 丁目 1 番 1 号　TEL (011) 699-5925